

平成 29 年度 特別養護老人ホーム事業計画

I 事業内容

第1項 対象施設及び実施事業

- (1) 特別養護老人ホーム高風園 (以下、「高風園」)
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、居宅介護支援事業、地域包括支援事業の5事業
- (2) 特別養護老人ホーム高風園「そめやの里」(以下、「そめやの里」)
特別養護老人ホーム事業、ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、居宅介護支援事業の5事業
- (3) 特別養護老人ホーム明風園 (以下、「明風園」)
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業の4事業
- (4) 特別養護老人ホーム菱風園 (以下、「菱風園」)
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業、相談支援事業(障害者福祉サービス)、地域包括支援センター事業の7事業

第2項 実施事業の取組

介護保険関係法令の趣旨に従い、各種事業間の連携を密にすることで、個人の尊厳と自立を継続的に支援していく。また、地域包括ケアシステム構築に向けた在宅関係サービスの柔軟な対応と、終の棲家と言われてきた特別養護老人ホーム事業の更なる連携を図ることで、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援体制の構築を目指しサービスの質の向上および地域福祉を推進する。

更に本年度は介護保険法の一部改正に向けた動きにも着目し、施設運営・施設経営の両側面の視点で業務に臨み、福祉人材の定着と活躍に繋げる。

なお、本計画の根底にある長期計画についても今年度中に見直し、将来像を明らかにする。

II 各施設における重点的な取組

各拠点区分の現状に照らし合わせ、本年度の課題および成果指標は以下のとおりとする。

○高風園

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの充実 ・個別ケアの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門資格の取得を促進 ・接遇の向上を図る ・個別ニーズと向き合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護指導者研修に1名、認知症介護実践リーダー研修に1名、認知症介護実践者研修に職員3名をそれぞれ受講させる。 ・マナーアップ研修の実施に向けて園内の課題を明確にする。 ・口腔ケアを見直し、口から食べることを支援する。 ・地域ケア個別会議や事例検討会を2

			回以上行う。
地域福祉の増進	・地域住民との交流促進	・ボランティア、実習生を積極的に受け入れる。 ・災害時等の地域との連携強化 ・地域に赴き、介護の専門性を還元する。	・年間12回以上のボランティアの受け入れを目指す。 ・年1回以上、地域住民参加型の防災訓練を行う。この際、簡単な介護体験講座を併せて行う。 ・いきいきサロンへの参加、認知症カフェの運営等を通じて、相談拠点についての広報活動を強化し、利用を促進する。
人材確保・育成	・職員採用に向けた採用・広報活動の強化 ・仕事に対する勤労意欲の向上	・就職説明会や専門学校等での採用活動の場を増やす。 ・階層別研修への参加促進	・パンフレットを更新する。 ・全職員が年間最低1回の研修受講を目指す。
施設経営	・適正な収益確保と財政基盤の安定 ・中長期の施設整備計画	・営業・宣伝活動の充実を図る。 ・必要箇所を修繕するとともに長期的な施設整備計画を見直す。	・毎月15日を目安に空床情報を居宅介護支援事業所宛てに送付する。 ・退去後5日迄の入所を目指す。 ・下水引き込み工事及び大規模修繕を含め、高風園の未来を考える会議(仮称)を発足し、長期的展望を見直す。

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業(従来)	70床	99.0%	年間平均稼働率
短期入所	18床	85.0%	”
通所介護	18人	14人	1日平均利用者数
居宅介護	68件	61件	月平均(※注1)
地域包括支援	—	360件	実態把握

○そめやの里

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個別ケアの推進 認知症ケアの充実 居住環境整備 在宅生活維持 リスクマネジ 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント重視のサービス提供を行う。 情報の共有 専門性の高い知識を身につける。 認知症専門ケア加算Ⅰの算定 快適な生活空間 アセスメントによる課題の抽出と分析。 接遇や苦情防止力向 	<ul style="list-style-type: none"> ケア会議(月1回)における個別ケア重点検討。 24時間シートの検討と変更。 ケア記録の充実。 認知症の受講 実践者研修2名 実践リーダー研修1名 人員配置により加算算定申請 居室・共同生活室の修繕と改修。(上半期実施:概算予算見積み済み) デイ利用者へのアンケート調査。(対象24名/5月) 接遇研修の実施。(年1回/5月)

	メント(接遇)	上。	
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との交流促進及び貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への参加と地域への貢献。 介護技術の勉強会を開催する。 災害時の施設の役割を周知する。 ボランティア開拓。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域主催の防災訓練及び環境活動へ参加する。(地域日程) いきいきサロンへの協力(月1回) 地域住民を集めた家庭介護研修会を開催する。(年1回/9月) 地域密着型運営推進会議での検討。(2ヵ月毎及び適宜) 回覧板等で広報活動を行う。(月1回)
人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用に向けた広報活動の強化 職員の資格取得・勤労意欲を支える。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職説明会や専門学校等への求人活動。 研修の機会を作る。 労働負荷の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ更新。 パンフレットの再考と作成(4月及び変更必要時) 職員のキャリア・ニーズに対応した研修受講と資格取得促進。 年次有給休暇を年間10日以上取得 ノー残業デイの設定。(週1日:日勤は木曜日/シフト制は所属設定)
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> 適正な収益確保と財政基盤の安定 中期施設整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> 施設経営に係る営業・PR活動を行う。 施設整備を行う。 経費算定と予算化。 	<ul style="list-style-type: none"> 入所待機者の状況把握(3ヶ月毎) 退所後5日以内の入所。 新規利用者の開拓。(居宅・包括・医療連携室への営業) 運営状況の把握と対策。(月1回施設経営会議:当月資金収支予算書) 施設設備3カ年計画。(上半期) 施設設備準備積立金等準備。

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業(従来)	30床	98.5%	年間平均稼働率
特養事業(ユニット)	20床	99.0%	〃
短期入所	10床	85.0%	〃
通所介護	18人	12人	1日平均利用者数
居宅介護	117件	105件	月平均(※注1)

○明風園

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの充実 介護への先進的な取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の専門研修への積極的な参加を通じて、高い専門的な知識を身に着ける。 介護ロボットの試行や実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症介護指導者養成研修を1名が受講する。 県の補助制度等を活用し、現場での実証を通じて実用化を目指す。
地域福祉の	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズを把握し、 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内に地域住民交流スペースを設

増進	交流促進	地域住民に活用してもらえよう憩いの場等を立ち上げる。 ・災害時等における地域との連携強化	け、29年度中に、ここを活用した事業を開始する。 ・毎年1回は、地域住民が参加した防災訓練を行う。
人材確保・育成	・職員採用に向けた採用活動・広報の強化 ・働きやすい職場環境づくり	・就職説明会や専門学校等での採用活動の場を増やす。 ・有休促進や長時間の時間外労働の是正	・学生就職活動期間に学校等へ出向き状況把握及び募集活動を行う。 ・事務所や職員休憩所への啓発案内の掲示やノー残業デーの創設
施設経営	・適正な収益確保と財政基盤の安定 ・中長期の施設整備計画	・関係機関へ空床状況を周知するとともに、営業・宣伝活動を行う。 ・中長期的な施設整備に係る必要総額を算出し、そのための積立目標額を設定する。	・退所から入所手続きに至る期間として5日間を目指す。 ・施設整備5か年計画等を作成し、利用者の介護の質を高める施設整備から優先的に着手する。最初に、故障中のボイラー機器の更新を行う。

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業(従来)	80床	98.0%	年間平均稼働率
短期入所	10床	75.0%	〃
通所介護	30人	22.8人	1日平均利用者数
居宅介護	117件	105件	月平均(※)

○菱風園

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	・個別ケアの充実 円滑な苦情対応	・いつまでも美味しく口から食べる事を支援する ・認知症ケアの向上 ・接遇の向上	・口腔ケアの研修会に参加及び伝達研修の実施 ・口腔ケア技術の向上及び口腔衛生管理加算の算定増 ・歯科衛生士による口腔ケアの指導 ・真空調理研修を受講し、高度な介護食の提供をする ・認知症介護実践リーダー研修に2名受講 ・認知症介護実践者研修に職員7名受講 ・全職員に接遇研修を行う
地域福祉の増進	・地域のニーズに合わせたサービス展開 ・地域の福祉人	・地域のニーズを探る ・地域包括ケアセンターとの協働 ・ボランティア、実習生	・配食サービスを行う目標月：20食 ・困難事例の積極的な受入 ・認知証サポーター養成講座の実施5回以上

	材の育成 ・地域との連携の強化	を積極的な受け入れと広報強化 ・地域アスションの空時間の活用 ・災害時等地域との連携強化	・パンフレットの更新 ・地域住民参加型の研修会の開催5回以上 ・年1回は住民が参加した避難訓練の実施 ・災害時の地域住民の受入
人材確保・育成	・働きやすい職場環境づくり ・中長期的な職員採用・育成計画 ・キャリアパスの明確化	・長時間労働を是正する為に水曜日はノー残業デーとする ・資格取得に係る支援を行う ・公平な評価制度を導入する	・職員の定着率を上げる ・各種更新研修の受講5名 ・全職員に職員評価票の導入及び活用
施設経営	・適正な収益確保と財政基盤の安定化 ・安定的な待機者の確保 ・適正人員の配置 ・中長期の整備計画	・退去後5日迄の入所を目指す ・稼働状況の確認及び共有と迅速対応 ・大規模修繕など補助金の申請 ・園内改修の計画	・稼働率、目標値以上の達成 ・4半期に1度の仮決算の作成と共有及び振り返りを行う ・消防設備の整備 ・園内改修工事 ・外壁の塗装工事 ・地域性を考慮した地域支援の拠点の方向を8月までに決定

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業（従来）	120床	97.0%	年間平均稼働率 （29年度は共有場所の大規模修繕を予定している利用者の居場所確保のため稼働率は低めに設定）
短期入所	8床	70%	
通所介護	15人	11.5人	1日平均利用者数
訪問介護	—	500回	〃
居宅介護	185件	147.5件	月平均（※）
相談支援（障害福祉）	—	65件	契約件数
地域包括支援	—	120件	月平均相談件数

※注1：「数値目標」における居宅介護の定員・目標値は、ケアマネ1名が月39件（介護1件に対し予防は0.5件でカウント）を基本とした数値